

富山県版総合戦略 「とやま未来創生戦略 2018」の概要

ねらい

人口減少を克服し、富山県の自然、文化、産業など、各地域の**特色・強み**を活かした持続可能で活力ある**未来を創造**する

人口減少自体への対応

人口減少社会への適応

- ・希望出生率と現状のギャップ
- ・晩婚化と未婚化の進行

- ・若者、女性の転出超過
- ・産業経済の活性化の必要性

- ・生産年齢人口の大幅な減少
- ・生産性向上の必要性

- ・地域コミュニティの弱体化
- ・人口減少による様々な影響

基本目標 1

結婚・出産・子育ての
願いが叶う環境整備

自然減の歯止め

基本目標 2

産業振興、若者等の
雇用創出、観光振興、
県内への移住促進

社会増への転換

基本目標 3

女性・高齢者など
多様な人材の確保と
労働生産性の向上
労働力不足への対応

基本目標 4

活力あるまち・健やか
かな暮らし・未来を
担う人づくり
地域の総合力アップ

県民希望出生率
「1.9」を目指す

基準

[2012]	1.37
[2016]	1.50
[2030]	1.9
[2040]	2.07

外国人の社会増の影響もあり、社会動態が改善

若者女性の転入増、転出減
15～34歳の社会移動

基準

[2013]	-1,550人
[2017]	- 18人
[2020]	移動均衡

人口の社会増(全世代計)

基準

[2014]	-1,147人
[2017]	+358人
[2020]	+100人
[2025]	+200人

1人当たり県民所得の
維持・向上を目指す

基準

県民所得

[2012]	307.7万円
[2014]	318.5万円
[2020]	維持・向上

健康寿命の延伸

基準

[2010]	男 70.63歳	女 74.36歳
[2016]	男 72.58歳	女 75.77歳
[2020]	男 72.74歳	女 76.32歳

将来も富山県に住みたいと
考える高校生割合

基準

[2015]	59.8%
[2020]	60%以上

施策の具体例

項目① 結婚から子育てまで切れ目のない支援による少子化対策の推進

- 結婚を希望する男女の出会いの場の提供、ライフプラン教育の充実
 - ▶ とやまマリッジサポートセンターの機能強化、婚活支援ネットワークを構築等による**結婚支援体制の強化**
- 妊娠、出産、健やかな子どもの成長のための環境整備
 - ▶ **産前・産後ケア、周産期保健医療体制**の充実
 - ▶ **不妊症・不育症対策**の推進
- 多様な保育・子育て支援サービスの充実や子育て支援人材の育成
 - ▶ **病児・病後児保育、延長保育、放課後児童クラブ**などの支援体制の充実



- 子育て家庭の経済的負担の軽減
 - ▶ 低所得世帯の**第一子・第二子の保育料の無償化・軽減**
 - ▶ **県営電気業収益**を**多子世帯の電気代**に還元
- 社会全体での子育て支援の機運醸成
 - ▶ **第4子以上が誕生したご家庭**へのお祝い
- 仕事と子育ての両立支援に向けた職場環境の整備促進
 - ▶ 「**イクボス企業同盟とやま**」のネットワーク拡大、イクボス養成講座の実施
 - ▶ 企業を顕彰する県民運動を展開するなど**働き方改革**を推進



平均初婚年齢	夫31.0歳、妻29.2歳 ⇒ 1歳程度引き下げる
病児・病後児保育実施箇所数	82箇所 ⇒ 130箇所
とやま子育て応援団の利用度	53.7% ⇒ 70%

項目② 産業・地域経済の活性化

項目③ 若者や女性がいきいきと働き暮らせる魅力ある地域づくり

項目④ 観光の振興、定住・半定住の環境づくり

施策の具体例



■ 「薬都とやま」の産業集積を活かしたライフイノベーションの推進

▶ バイオ医薬品等の付加価値の高い医薬品の研究開発支援

■ 最先端ものづくり産業の育成

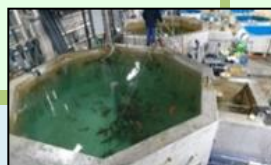
▶ CNFなどの高機能素材の実用化研究支援

■ 農林水産業の競争力強化

▶ 米の新品種の販路開拓、富山ブランドの確立

■ 生産性革命に資する地方創生拠点整備

▶ 産業支援機関、くすり、農林水産業振興の拠点整備



■ 若者の県内定着

▶ 地方大学、中核的産業の振興のため、医薬品、アルミ分野の各コンソーシアムを形成し、産学官が連携した研究開発や人材育成等を推進

■ 選ばれ続ける観光地、ブランドカアップ

▶ 「立山黒部」、「富山湾」の国際ブランド化

■ 定住・半定住の促進

▶ 「富山暮らし・しごと支援センター」に東京・大阪にオフィスを新設、名古屋で定期相談会実施など相談体制強化



主なKPI

医薬品生産金額

6,089億円 ⇒ 9,000億円

従業者1人あたり付加価値額(製造業)

985万円 ⇒ 1,100万円

県立大学卒業生の県内企業就職率

42.0% ⇒ 55%以上

観光消費額(宿泊+日帰り/観光・ビジネス)

1,292億円 ⇒ 2,067億円 (6割アップ)

- 項目⑤ 女性が輝いて働ける環境づくり
- 項目⑥ 高齢者等が能力を発揮、活躍できる社会の実現
- 項目⑦ 多様な人材の確保と労働生産性の向上

施策の具体例

■ 女性の活躍促進、女性人材育成の推進

- ▶ 中小企業の一般事業主行動計画策定を支援し、女性が活躍しやすい環境づくりを推進
- ▶ ライフイベントに応じたキャリア形成を支援し、女性の再就職を支援



■ 元気な高齢者が活躍するための支援

- ▶ とやまシニア専門人材バンクの活用
- ▶ 社会活動を通じたエイジレス人材の育成促進

■ 外国人留学生の受入・定着の促進

- ▶ アセアン地域等からの留学生の受入拡大

■ 生産性の向上と産業の高度化支援

- ▶ 県内企業のIoTの導入促進
- ▶ 「クリエイティブ・デザイン・ハブ」整備によるものづくり技術とデザインの活用商品の開発
- ▶ 従業員の健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実施する「健康経営」の普及支援



■ 生産性の高い農業の展開

- ▶ ICTやロボット技術などを活用したスマート農業の推進



主なKPI

研究者・技術者における女性の割合	11.8% ⇒ 14.1%
アセアン地域からの留学生受入数	19人/年 ⇒ 24人/年
農業産出額	643億円 ⇒ 698億円

- 項目⑧ 交通ネットワーク整備と活力あるまちづくり
- 項目⑨ 健康で安心して暮らせる社会の形成
- 項目⑩ 地域を担う人づくり



施策の具体例

■ 交通ネットワーク、魅力あるまちづくり

- ▶ 北陸新幹線の整備促進、
伏木富山港の機能充実、総合体育センターと連携した富山空港の利用促進
- ▶ 地域公共交通ネットワークの確保・充実
- ▶ 活力ある経済・生活圏形成等の地域連携

■ 健康寿命日本一推進プロジェクト

- ▶ アプリを活用した運動習慣の定着、食生活の改善などによる、健康寿命延伸の推進

■ 質の高い医療サービス提供体制の整備

- ▶ 地域医療構想に基づく医療機能の分化・連携の促進、医師、看護職員の人材確保

■ 地域ぐるみで支え合う仕組みづくり

- ▶ 在宅医療におけるIoTの活用
- ▶ 訪問看護ステーションと病院の連携強化

■ 環日本海地域の環境保全

- ▶ G7「2016とやま宣言」に基づく環境保全

■ 「心の元気」を醸成する文化の振興

- ▶ 富山県美術館の周辺の賑わいづくり
- ▶ 特色ある国際的文化振興事業の充実

■ 未来を拓く人材育成

- ▶ 発達段階に応じた
キャリア教育の充実



市町村等の地域連携協約の締結

⇒ 1圏域以上

認定看護師数

158人 ⇒ 300人

地域包括ケア活動実施団体登録数

⇒ 1,500団体

